

真庭市農業委員会だより「豊かな大地」第11号

真庭市内でがんばっている人 紹介します



先輩農家さんのハウスで来年に向けて今年のトマトを片付ける上田陸さん

農業大学校を卒業した後、地域に貢献することを目標に就農された上田さん。農業大学校でミニトマトの栽培を学んで、美味しく上質なトマトを作るために日々奮闘中。眞面目で誠実に農業に向き合う姿勢は、周りの農家さんにも評判。地域の方に見守られながら、日々進歩している。

上田 陸さん(蒜山別所)

～農業大学で学んだことを地域の為に～

上田 陸さんへインタビュー



Q 農業を始めようと思った理由は?

A 人が生きていく上で野菜は必要不可欠なものであると思い、それを自分が作ることで、少しでも社会貢献できたらと思ったということです。それと農業という働き方が自分の性に合っていると思ったこと、この二つが大きな理由です。

今年度は、ミニトマトの露地栽培だけでしたが、来年度からは施設栽培と露地栽培をし、年々、面積を拡大していく予定です。

Q 将來の目標は?

A おそらく大いぶ先になるような気がしますが、有機栽培に取り組むことです。そして、今も安全性が重視されはいるのですが、これからもっと重視されてきそうな気がするので、いずれはGAPにも取り組んでみたいと思っています。この二つについては自分としたかったこと、安全で美味しいものを作りたい、ということにもつながってくるので、積極的に取り組んでいきたいと思っています。

もくじ

真庭市内で頑張っている人の紹介	P 1
健康になる農業	P 2
平成30年度農業委員会活動報告	//
真庭の特産品に！	P 3
女性農業委員活動	//

農地中間管理事業のしくみ	P 3
平成30年度真庭市農業委員会県外視察研修を行いました	P 4
平成31年度真庭市農業委員会総会開催日等一覧	//
全国農業新聞の購読ご案内	//
編集後記	//

健康になる農業 皆さんの「美味しい」の声が金メダル

有限会社グリーンワーク山本勝典さん・勢津枝さん（蒜山富山根）



稻に活性炭水をまく山本さん

私が電子技法（炭素・水・空気を利用する）にご縁があったのは、昭和59年でした。先輩からの話で体験学習から始まつた農産物の生産でしたが、栽培した大根・人参・米等は今まで私が食してきたものとは違つたものでした。甘くスッキリした食感でいくらでも食べられる本当に美味しいものでした。この技法は全国各地に仲間がいて、ミカン・リンゴ・イチゴ等の農産物をはじめ、味噌・しょうゆ・酢等の加工食品、生産に応用されています。食料の理念は食べて健康につながるものと考えます。作物の素性を引き出し生産していこうと思います。先ず作物は根張りが重要ですので、土の中に活性炭を混入します。その事により土壤の中の水が浄化されます。そして、活性炭混入により作物の根張りが良くなります。



淨化された土壤の水を根が吸い上げ光合成によって炭水化物（甘い・美味しい）として、成長します。今現在、私はキャベツ・人参・稻を生産しています。キャベツに関しては苗（トレイ200穴）の段階で混ぜ、稻作に関しても育苗箱の段階で混ぜます。

生産されたキャベツはシャキシャキ感、のどの通りが非常によく、いくらで最も食べられる美味しいものとなつていて、有り難いことに買つて食べた消費者の方より声を頂いています。生産者として一番嬉しい事は食して下さった方（消費者）より「本当に美味しいねえ。」とか、「これを食べたら他の物は食べられない」と言つてもらう事が勲章、金メダルです。安全で健康につながる食物をこれからも仲間と共に続けていこうと考えています。と同時に次世代につなげていきたいと思つてているところです。

平成31年								平成30年								平成30年度 委員活動報告	
3月 14日	3月 12日	2月 13日	1月 16日	1月 11日	12月 7日	11月 29日	11月 30日	11月 15日	10月 26日	10月 13日	9月 27日	8月 10日	7月 10日	6月 12日	5月 30日		
女性農業者意見交換会	ジウム	勉強会	2月総会・編集委員会・政策	県外視察研修（丹波市）	委員会	中国・四国ブロック女性の農業委員会研修会（徳島県）	平成30年度農業者年金加入推進セミナー（東京）	平成30年度全国農業委員会会長代表者会（東京）	平成30年度市町村農業委員研修会（吉備中央町）	農地利用最適化推進委員会（美作市）	8月総会	7月総会・政策講演会	6月総会・運営委員会	5月総会・運営委員会	4月10日	4月10日	4月総会
3月総会	農業委員会活動推進シンポジウム	平成30年度（第15回）女性の農業委員会活動推進シンポジウム	平成30年度（第15回）女性の農業委員会活動推進シンポジウム	元気四人家族!!	芝生	あ米	ニンジン	キャベツ	green work	黒にんにく	元気四人家族!!	元気四人家族!!	元気四人家族!!	元気四人家族!!	元気四人家族!!	元気四人家族!!	元気四人家族!!

〈女性農業委員活動〉

8月、おかやま女性農業委員会美作ブロック研修会があった。美作エリアの女性委員及び事務局員29人が勝央町にある梨農園とぶどう農園を視察し、意見交換を行った。梨農園は昭和45年ごろに山を切り開いて作られたようだ、広大な傾斜地に美しい景観を見せていた。農園主夫人達が日頃から合理的かつ、きめ細やかに管理されていて、その結果としてこの美しい景観が生まれ、美味しい作物ができている。女性の力は偉大だと思えた。また、委員と事務局員が双方信頼し協力しながら仕事を進めておられるのが感じられた。

市域を出て見聞したことや他市の委員たちとの意見交換の成果を、今後の活動の大きな糧にしていかなければならない。

(農業委員 小田明美)

真庭の特産品に！

「ぱぶ丸」というのは、ミニパプリカの愛称(種苗会社)。赤・黄・オレンジとカラフルで可愛く、糖度は6~8度あって甘く生食に喜ばれる。

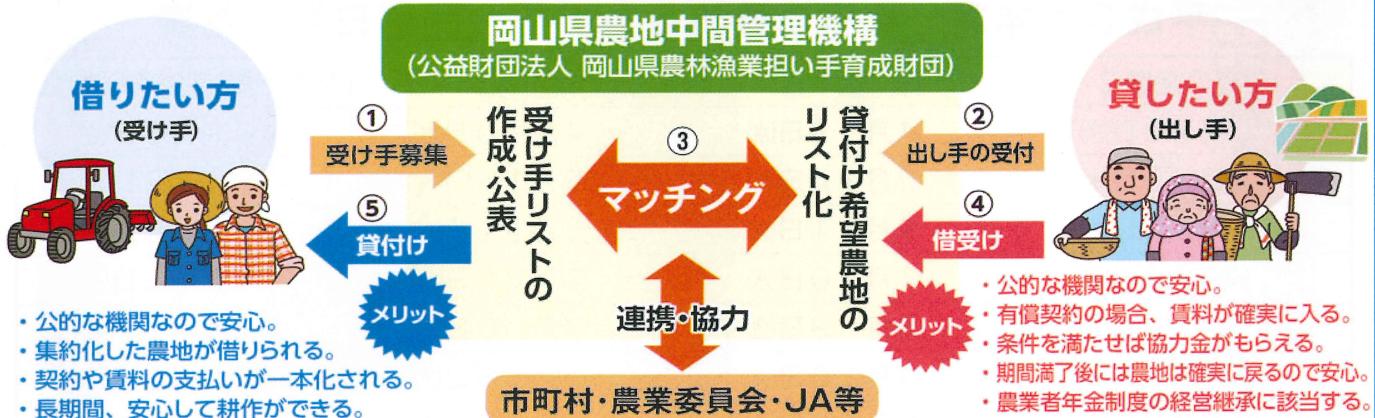
平成29年に北房で試験的に栽培し、直売所や高槻まにわ市場で販売して好感触を得た後、平成30年より市内全域で栽培に取り組んでいる。蒜山から北房まで17人で、約720本を栽培している。

1本から100個~200個収穫可能で、着果から着色までの期間が短く完熟目安45日程度。収穫期間は露地では7月から霜時期までと長い。少面積でも栽培できるのも魅力である。

今後、規格の統一性にも気を配りながら市全域で3,000本栽培を目指し、「真庭の特産品」化を狙っている。パプリカの国内生産地は少なく、市場に出回っている品の90%は輸入品。そんな中で、安心・安全なパプリカを真庭から栽培販売していきたいと思っている。

(北房 平田忠さん)

農地中間管理事業のしくみ



※農地の貸付申込みをして機構が借り入れるまでの間は、貸付希望者が自ら該当農地を管理していただきます。

※農業委員会が再生不能と判断した遊休農地など、利用することが著しく困難な農地は借り入れできません。

農地を
貸したい方

機構に農地を貸したい方は、市町村役場で隨時受付けておりますので、お近くの役場農政担当課にお問い合わせください。(事業対象農地は農業振興地域内に限ります。)

機構を通じて担い手農家に農地を貸し付けた方には、機構集積協力金の交付が受けられるメリットもあります。

※現在、貸付け希望が不足していますので、希望者がおられましたら、是非ご連絡・ご紹介ください。

農地を
借りたい方

農地を借りたい方は、機構が通年で農地借受希望者を募集しておりますので、ご応募ください。

① 機構から農地を借り受けるためには、機構の借受希望者の募集に応募し、公表される必要があります。

② 申込先は機構の各支部(備前、備中、美作)になります。

農地中間管理機構に貸し付けた農地の課税軽減

対象者

所有する全農地(10ha未満の自作地を残した全農地)を、新たにまとめて農地中間管理機構に10年以上の期間で貸し付けた者。

課税軽減の手法

新たに機構に貸し付けた農地に係る固定資産税を以下の期間中1/2に軽減する。

① 15年以上の期間で貸し付けた場合には、**5年間**

② 10年以上15年未満の期間で貸し付けた場合には、**3年間**

実施時期

28年度から実施。

【特記事項】■ 3年以上であれば、ご要望に応じ借入れ・貸付けています。(ただし、原則は10年以上です。)

■ 貸料の支払いは、金納に加え、物納(主食用米に限る)も受け付けています。 ■農地中間管理機構を利用しても手数料は必要ありません。

岡山県農地中間管理機構
(公益財団法人 岡山県農林漁業担い手育成財団)
〒703-8278 岡山市中区古京町1-7-36
☎086-226-7423 FAX.086-206-7330

真庭市農業委員会事務局

〒719-3201 真庭市久世2927-2

☎0867-42-1676 FAX.0867-42-3907

真庭市農業委員会に岡山県農地中間管理機構の職員が駐在しております。何でもお気軽にご相談ください。



平成30年度真庭市農業委員会 県外視察研修を行いました

平成31年1月16日～17日に兵庫県丹波市春日町を農業委員14人と農地利用最適化推進委員9人の合計23人で訪問し、研修を受けました。

研修では、真庭市の遊休農地拡大の抑制に向け検討している栗栽培、小豆、大豆の栽培推進、また、有害鳥獣対策について丹波市農業振興課及び農業委員会から丹波市の状況について説明をしていただきました。丹波市では、丹波大納言小豆・丹波栗・丹波黒大豆を丹波三宝とし、農協などの関係機関と連携し丹波市ブランドを活かした元気な農業・農村づくりに取り組まれています。また遊休農地対策についても農業委員、農地利用最適化推進委員が地域の状況を把握し貸し借りの手助けを行なうなど、積極的な活動をされており今後の真庭市農業委員会活動の参考となる、大変有意義な研修となりました。



平成31年度 真庭市農業委員会総会開催日一覧表

申請の締切日	総会日	3・4・5条許可日	県農業会議常設審議委員会開催日
3月20日(水)	4月10日(水)	4月10日(水)	4月26日(金)
4月1・8日(木)	5月14日(火)	5月14日(火)	5月29日(水)
5月20日(月)	6月11日(火)	6月11日(火)	6月28日(金)
6月20日(木)	7月10日(水)	7月10日(水)	7月29日(月)
7月19日(金)	8月9日(金)	8月9日(金)	8月28日(水)
8月20日(火)	9月10日(火)	9月10日(火)	9月30日(月)
9月20日(金)	10月10日(木)	10月10日(木)	10月28日(月)
10月21日(月)	11月12日(火)	11月12日(火)	11月27日(水)
11月18日(月)	12月6日(金)	12月6日(金)	12月20日(金)
12月17日(火)	1月10日(金)	1月10日(金)	1月28日(火)
1月21日(火)	2月13日(木)	2月13日(木)	2月28日(金)
2月20日(木)	3月10日(火)	3月10日(火)	3月30日(月)

* 総会の開催時刻は原則午前10時からですが、都合により午後からの開催もあります。

* 総会日が変更になれば、許可日も変更になります。

* 4・5条申請の許可日は原則総会日となります。30aを超えるなど県の諮問が必要な案件については、県農業会議常設審議委員会の審議結果通知後許可となります。

日本中の農村に増えているもの、それは遊休農地と限界集落と言われています。その原因は経済のグローバル化の影響が大半で深刻な問題になっています。農地の荒廃は人の心の崩壊、また農地は人の命を守る公共財、後世へ継承すべき生産装置であります。

豊かな農村を取り戻し、食糧の安定供給を実現するには、自助・共助・公助がカギを握っています。農業には魅力があります。自然豊かなこの真庭において、今後とも、農業委員・農地利用最適化推進委員と事務局が連携し一体となり組んでいきたいと思います。

(編集委員長 池田 実)

編集後記

農地を守り、担い手を応援する農業専門情報紙です。経営と暮らしに役立つ情報を分かりやすくお伝えします。
※見本紙もございますのでお気軽にご連絡ください。

発行：毎週金曜日
購読料：月額700円
申込先：農業委員または農業委員会事務局へ

全国農業新聞の 購読ご案内